令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立萩中小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・運動の楽しさや喜びを味わおうとする運動への関心や意欲が高まった。
- ・ICT 端末等を活用し、自分の動きを確認しながら、技能の向上につなげようとする児童が増えた。

(2) 課題

- ・瞬発力、敏捷性が十分に身に付いている児童と、そうでない児童の二極化が見られる。
- ・ICT 端末を活用して自他の動きを知り、課題を見付けることが難しい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かす楽しさに触れる機会を増やす。 ○体を十分に動かすことができるよう、様々な運動遊びを取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで動きを見合ったり、まねをしたりする場面を設け、自他の動きを考える機会を多くつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○準備、片付けの仕方や安全面の配慮を徹底する。 ○誰でも楽しく簡単にでき、運動量が確保された運動遊びの場を設定していく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○高学年や中学校で取り組む上での基礎的な技や動きなどを正しく身に付けていくために、運動局面での動きを説明する機会を設けたり、児童がいつでも手本動画を確認したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の動きを見て気付いたことを伝え合ったり、自分の動きを動画で確認したりする機会を設ける。 ○学習カードやICT 端末等を活用し、課題や課題を解決するための方法を考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律を共通理解させ、準備や片付けを素早く行うことで主運動の時間を多く確保する。 ○課題解決に向けて、児童が運動にすすんで取り組める場づくりをしていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○正しい動きで試技を繰り返したり、動作を修正したりできるように、手本動画を常に確認できるようにする。 ○準備・補助運動などの時間を活用して技能につながる動きを取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア、チーム学習を取り入れ、伝え合いを通して自他やチームの課題を見付けられるようにする。 ○作戦表や系統表などを活用し、課題の解決方法を予想し考えたり、適切な方法を選択したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律を徹底し、準備や片付けを素早く行うことで主運動の時間を多く確保する。 ○自分やチームの目標や課題を解決できるような場を多く設ける。児童の意欲を引き出し、最善を尽くして運動する態度を養う。